

海洋数学 A	単位数	2 単位
	学科・学年・学級	海洋科学科 3年 選択者

1. 学習目標・使用教材

学習目標	中学校と高校で学習した内容を再復習するとともに、受験レベルの数学 I が解けるようになる。
使用教材	プリント、「新数学 I」(東京書籍)

2. 学習計画及び定期考査の範囲

項	学習内容 (到達目標)	備考
基本確認	○基礎問題の No. 1～6 が解けるようになる。 ・平方根, 根号を含む式の計算ができる。 ・指数法則, 公式による展開, 置き換えによる展開の工夫ができる。 ・公式により因数分解, たすきがけの因数分解, 置き換えによる因数分解ができる。 ・2次関数の最大値・最小値を求めることができる。 ・2次不等式が解ける。	1 学期 中間 考査
基本問題演習	○基礎問題の No. 7～13 が解けるようになる。 ・平方根, 根号を含む式の計算ができる。 ・指数法則, 公式による展開, 置き換えによる展開の工夫ができる。 ・公式により因数分解, たすきがけの因数分解, 置き換えによる因数分解ができる。 ・2次関数の最大値・最小値を求めることができる。 ・2次不等式が解ける。	1 学期 期末 考査
実力錬成問題演習	○実力錬成問題 No. 1～5 が解けるようになる。 ・受験過去問の数学 I を中心とした問題。特に, 数と式を中心に演習する。	2 学期 中間 考査
	○実力錬成問題 No. 6～10 が解けるようになる。 ・受験過去問の数学 I を中心とした問題。特に, 数と式を中心に演習する。	2 学期 期末 考査
まとめ	○実力錬成問題 No. 11～13 が解けるようになる。 ・受験過去問の数学 I を中心とした問題。特に, 数と式を中心に演習する。	学 年 末 考査

3. 評価の方法

各学期	・中間考査と期末考査の成績・・・70点 ・ノートやプリント等の提出物、小テスト、学習態度、出席状況等・・・30点 ※授業中の態度や提出物等の状況によっては、平常点で大幅に減点、または <u>単位認定しないことがあります。</u>
学年末	・各学期の成績と学習状況を考慮して評価する。

4. 評価の観点

関心・意欲 ・態度	・各単元について興味・関心を持ち、その知識の習得に意欲的に取り組もうとしているか。(発表、プリント、授業態度)
数学的な 見方や考え方	・各単元について論理的に考えたり、既習したことを用いて考えようとしているか。(発表、プリント、定期考査)
表現・処理	・各単元の問題を適切な方法で表現・処理することができるか。(発表、授業態度、定期考査)
知識・理解	・各単元で学習したことが知識として身に付き、理解しているか。(定期考査)